松江市ボランティアセンターだより

つなぐ

第18号

令和４年７月発行

職員紹介

春の人事異動により１名の職員が新たに加わりました。
今年度もセンターだより・Facebook・社協HPなどで
活動をお伝えしていきます。
今年度もよろしくお願い致します。

所長
安藤（あんどう）　只祥（ただひろ）

new Face

約20年ぶりにボランティアセンターに戻ってきました。
よろしくお願いします！

森山（もりやま）　佳子（よしこ）

高木（たかき）　彩野（あやの）

吉野（よしの）　智子（ともこ）

金島（かねしま）まゆみ

－ご協力ありがとうございました－

「コロナ禍におけるボランティア活動に関するアンケート調査」結果報告について

回収率
７５団体中　５４団体
（回収率72.0％）

松江市ボランティアセンターと島根県社会福祉協議会が協働で
『コロナ禍におけるボランティア活動の実態と今後の活動に向けた支援』
へ当センター登録の75団体にアンケート調査を実施しました。
このアンケートは、活動現状の把握並びに今後の発展に向けた
支援検討のために対象団体へご協力いただきました。

（複数回答可）　※回答数が多い順に左から列挙しています。

問1．団体の属性について　※主たる活動	趣味・特技を生かした活動	23	対人援助に関わる団体	16	その他の活動団体	6	当事者支援団体	6	情報発信・調査・研究に関する団体	3
問2．新型コロナの影響で活動をどうしたか	規模・回数を減らし実施	25	中止した	16	変わらず実施した	7	その他	6		
問3．活動を中止の理由は（中止団体のみ回答）	安全確保や三密回避が困難	12	感染不安で仲間が集まらない	4	活動先よりのキャンセル	4	会場の使用が不能	1		
問4．活動中止や継続をどのように決めたか	メンバー全員で話し合った	9	役員のみで話し合った	7	行政等からの指示で決定	1				
問5．縮小・中止の際、気になっていたことは	どんな形でいつ活動再開できるか	22	メンバーの様子	17	助成金等を申請できるか	5	特になし	4	その他	4
問6．活動を継続または再開した理由は	メンバーの合意が取れた	30	感染症対策できる環境が整った	18	会場の使用が可能になった	12	その他	7	無回答	10
問7．活動を継続・再開後に形や方法を変えたか	感染対策をとるようにした	35	三密を回避するようにした	33	集まり方の工夫をした	17	方法を変えず継続	3	その他	5
問8　新型コロナの影響で、感じたことや気づきは	今後の活動継続への不安	27	連絡や定例会の方法を考えた	20	活動の目的や役割を再確認した	20	合意形成 仲間の大切さ	20	その他	3
問9．社協や行政に期待していること	今後の活動に関する助言など	19	他団体の活動等の情報提供	14	助成金等に関する助言	11	SNS等で助言等	3	その他	5

問10．活動における困りごとはなんですか（自由記述）

コロナ禍の活動に関すること
交流が難しくなった。活動内容を工夫しているが、限界がある。

メンバー減少や高齢化に関すること
コロナとは関係ないが、60代でも仕事を持ち、勤める人が多くなり、メンバーの獲得が困難になっている。

行政・社協等への期待要望に関すること
・年々助成金が減っている。助成金等の情報提供がほしい。
・ネット学習がしたいが、活動資金は活動者の持出しのため、活動がしやすい環境を整備してほしい。

紹介 第2回

ボランティアセンターに登録している団体の紹介

ボランテイアがつながる **ボランテイア**へ

漫才コンビ　よしこじゅんじ

七年前から登録団体として、松江市内はもとより沢山の場所で、漫才を披露させていただきました。笑いは健康に良い、笑う門には福来る。みんなで笑って楽しもうと、テレビでは伝わらないナマの漫才の面白さを是非、体感して欲しと思っています。

皆様に会場で励まされ、お陰様で、松江市在住、山陰唯一の男女の漫才コンビとして結成九年目を向かえました。これからも皆様からのご依頼をお待ち致しております。（角　純二）

令和４年度ボラカフェの開催日程

一人ひとりの間隔を広く
感染対策に取り組みながら実施しました！

年間スケジュール

㈭４月２１日（木）	参加者　７人	１０月２７日（木）
㈭５月２６日（木）	参加者　11人	１１月２４日（木）
㈭６月２３日（木）	参加者　14人	１２月２２日（木）
７月２８日（木）		１月２６日（木）
８月２５日（木）		２月１６日(木)
９月２２日（木）		３月２３日(木)

開催場所：松江市総合福祉センター内
４階教養室
開催場所：１４：００～１６：００

NO！ポイ！コンタクトレンズパッケージ

「使い捨てコンタクトレンズ空ケース」の回収活動をスタートしました。

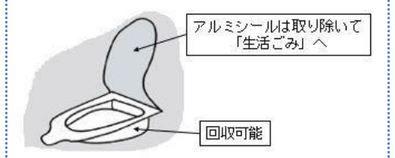
松江市ボランティアセンターは「使い捨てコンタクトレンズの空ケース」の回収活動をスタートしました！

使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を通じて、プラスチックごみの削減や環境問題を意識していただく目的の**「アイシティ eco プロジェクト」**に賛同し、回収 BOX を設置しました。

【回収ボックス設置場所】
松江市総合福祉センター　2 階
松江市ボランティアセンター　入口

【回収するもの】
使い捨てコンタクトレンズの空ケース
（注）メーカーは問わず回収します。

【投入時のお願い】
回収ボックスに空ケース以外のものを入れないでください。
空ケースについているアルミは必ずはがしてください。



【使い捨てコンタクトレンズ空ケース】

この取り組みは 3 つの社会貢献につながっています！

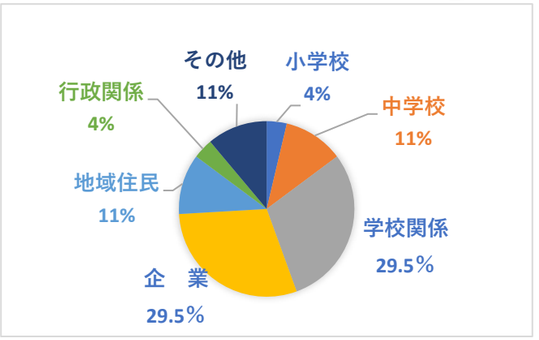
- 空ケースの再資源化　様々な製品に生まれ変わります　CO2 排出を削減します
- （公財）日本アイバンク協会への寄付　*空ケースをリサイクル業者へ買い取ってもらった収益を全額寄付。
- 障がい者の自立・就労支援
  *アイシティの障がい者部門で、回収後の空ケースのアルミをはがすなどリサイクル支援作業で就労支援。

令和３年度　あいサポーター研修の実績について

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の取り組みとして令和 3 年度実績について学校、企業、福祉団体等にメッセンジャーの方が講師として出向き下記のとおり研修を実施していただきました。

実施団体数・・　27 団体、36 回　　受講 人数 ・・　1,405 名

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	1	地域住民	3
中学校	3	行政関係	1
学校関係	8	その他	3
企　業	8	合　計	27



ご寄付をありがとうございました！

①使用済み切手　②プルタブ　③書き損じはがき　④未使用切手など地域の皆さまに収集ボランティア活動にご協力いただきました。
いつも温かいお気持ちを賜り、心より感謝致します。

当センターにお一人おひとりお持ち下さいました！

令和３年度　受付件数　１５７件
（複数種類の寄付でも一人当たり１件として受付）

団体種別	寄付数	団体種別	寄付数
4 月	7 件	10 月	14 件
5 月	12 件	11 月	7 件
6 月	19 件	12 月	9 件
7 月	18 件	1 月	9 件
8 月	10 件	2 月	18 件
9 月	4 件	3 月	30 件

自治会でも集めてお持ち下さいました

[お問い合わせ先]　ボランティアの事・保険の事・ご不明な点・ご要望など下記までお問合せください。

松江市ボランティアセンター　TEL（0852）27-8388　FAX（0852）24-1020

（松江市千鳥町 70 番地　松江市総合福祉センター2 階）　メールアドレス　：　volunteer@shakyou-matsue.jp